



平成 17 年 1 月 6 日

## Total Quality Management の実践

臨床検査の品質 (quality) 管理がどのように行われているかご存知ですか？ 最初に頭に浮かべるのは精度管理でしょう。中央検査部では日常業務における内部精度管理と共に表に示すような外部精度管理に積極的に参加しています。また検査の質は測定という技術ばかりではなく、採血に始まり、結果の報告に至るまでの全工程の精度保証です。 そのために検査に適した採血管・容器の選択、採血管バーコードラベルによる患者確認、機器・試薬の管理、結果の報告様式の検討に至るまでの総合精度管理 (total quality control) を行っています。

### 参加している主な外部精度管理

CAP(College of American Pathologists)主催のコントロールサーベイ  
CDC(米国疾病対策センター)/WHO(世界保健機構)共同精度管理  
日本臨床衛生検査技師会サーベイ  
日本医師会サーベイ  
日本健診学会主催のコントロールサーベイ  
検査機器メーカー主催の全国サーベイ  
検査試薬メーカー主催の全国サーベイ

### 大学病院 中央検査部の Total Quality Management (TQM)

患者様や医師・看護師・経営者らに大学病院としての十分に満足できる品質を、最も経済的な水準で生産するために、検査部内のすべての者(部署)が行う品質の維持と改善への努力を総合的に調整することです。そして、その過程において医療者の教育という責務があることが特徴です。

#### 患者様のための TQM

検査の結果が臨床医の満足する品質であり、最終的には患者様の診療に有効に活用される検査であることが目標です。 そのためには検査結果に対する信頼性は基より、直ちに診療に活かせる検査としての迅速検査の導入を推進し、さらに検査情報の提供などが必要です。

#### 効率的な検査のための TQM

臨床検査の効率性の確保には経済面も考慮した TQM が不可欠です。検査に関わる全ての者が、効率的な医療を意識し、向上心を維持することが重要です。無駄な検査を除き、有効性の高い検査を取り入れ、迅速に対応する環境作りが大切です。

#### 安全管理と TQM

医療安全の面でも病院の医療安全管理のガイドラインを守り、検査結果のミスには至らなかったインシデントもレポートとして記載し、件数・内容・原因分析を検査部でも独自に行っています。さらに IT 化を推進して検査の全ての工程を IT により補佐されたシステムとすることを目指しています。

「医療の質はチームワークによって決まる。」学会、書物、報道で最近よく耳にする言葉です。最後に検査部職員全員が東京医科大学病院の一員として、病院の掲げる理念と基本方針に沿って、さらなる目標に向かって精進していくことを誓い、新年の挨拶の言葉とさせていただきます。

中央検査部 技師長 上道 文昭  
臨床検査医学講座 検査専門医 腰原 公人  
中央検査部 部長 福武 勝幸  
(Clinical Test News No.14/2005.1)